

大阪大学呼吸器内科で診療を受け、過去に包括同意書「患者さんの検体を研究、医学教育目的に使用させていただくことについてのお願い」を用いて同意を頂いた方へ

2022年 3月 15日

過去に提供いただいた試料・情報を、新しい疾患バイオマーカーの探索を目的として計画された下記研究課題に使用させていただきます。その概要を記載いたしますので、この研究課題についてご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

ご自身が提供された試料・情報をこの研究課題に対して利用・提供してほしくないと思われました場合にも、問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた際は、その試料・情報の利用を停止します。

研究課題名

呼吸器系・免疫疾患における細胞外小胞に着目した病態解明および診断法の開発

研究責任者

足立 淳：医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所
プロテオームリサーチプロジェクト プロジェクトリーダー

共同研究機関の研究責任者

武田吉人：大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学 准教授

本研究の目的

呼吸器疾患においては有用な診断法や治療法が存在しない疾患が数多く存在します。多くの病気の原因は遺伝子の最終産物であるタンパク質の異常によって起こっているため、病気の原因となるタンパク質の発見が最重要課題です。このタンパク質を網羅的に解析する手法がプロテオミクスであり、特に病気の原因となるタンパク質の発見にはヒトの血液、尿、組織などの臨床材料を用いたプロテオミクス研究が不可欠です。

エクソソームは様々な細胞が放出する直径 30~100nm の細胞外小胞です。近年、エクソソームに含まれる蛋白質やRNAが癌細胞など病的細胞のバイオマーカーとして有用であることが報告されており、疾患の早期診断や治療効果の判定などとの相関性が活発に研究されています。しかし、呼吸器疾患や免疫疾患におけるエクソソームの役割は十分に解明されていないのが現状です。

本研究では、最新のプロテオミクス技術を使い、ヒトの血液などの臨床材料のエクソソームから呼吸器疾患の診断や治療に有用なタンパク質を発見することを目的としています。

研究実施期間

この研究課題の研究期間は2025年3月31日までです。

研究の方法

【研究対象者】

大阪大学呼吸器内科で診療を受け、過去に包括同意書「患者さんの検体を研究、医学教育目的に使用させていただくことについてのお願い」を用いて同意を頂いた方。

【本研究課題で利用する試料・情報の項目】

血液、肺組織、胸水、肺洗浄液、尿等臨床データ（年齢、性別、疾患名、喫煙歴、合併症、病歴等）、呼吸機能、胸部 CT、

【研究方法の概要】

大阪大学呼吸器内科で採取された呼吸器疾患患者および健常者の血液のエクソソームから、医薬基盤・健康・栄養研究所プロテオームリサーチプロジェクトにおいてタンパク質を抽出し、質量分析計を使ってタンパク質解析を行います。タンパク質解析から得られた情報と臨床データ・各種検査データをもとに、バイオインフォマティクスプロジェクトにて、疾患の診断・治療に有用なバイオマーカーを同定します。遺伝子解析は実施しません。

試料・情報の提供について

試料は宅急便で、情報はメールで大阪大学呼吸器内科から医薬基盤・健康・栄養研究所に送られます。試料・情報は、医薬基盤・健康・栄養研究所のみの利用とします。

個人情報の取り扱い

個人情報は大阪大学呼吸器内科で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では、個人情報は扱いません。

また、研究成果を学会や論文等で公表する際にも、個人が特定できないようにします。

お問い合わせ先

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチプロジェクト

プロジェクトリーダー 足立 淳

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

電話：072-641-9811 内線 3209

大阪大学呼吸器内科 准教授 武田吉人

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

電話：06-6879-3833